

文教厚生常任委員会

◎委員長 ○副委員長 ◎平原 志保 ○宮田 竜二 山口 仁美 鈴木てるみ 徳田 修和 飯屋 国治 池田 守 前川原正人

審査した議案を掲載しています

- 議案第57号 霧島市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について 賛成多数で可決
議案第65号 財産の処分について 賛成多数で可決
陳情第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について陳情書 賛成少数で不採択
陳情第5号 障害者等の医療費助成制度の現物給付(窓口無料)を意見書として鹿児島県に求める陳情書 全会一致で採択

国分敷根保育園の廃止と同施設の建物を無償譲渡

国分敷根保育園を民営化することに伴い、同園を廃止し同施設の建物を無償譲渡するもの。不動産鑑定評価は、土地評価額1602万9980円、建物評価額150万円であった。検討の結果、土地は評価額で有償譲渡、建物は建設後42年が経過し修繕や施設の更新が見込まれるため無償譲渡とするとの説明。

問 譲渡先の社会福祉法人清心福祉会は、東京の法人とのことだが、経営規模はどうか。
答 清心福祉会は、昭和53年設立し東京を中心に、保育園を15園、学童保育所を3か所、老人ホーム等を経営している。本市内でも、鹿児島空港わらべ保育園を開設している。

問 譲渡先の社会福祉法人清心福祉会は、東京の法人とのことだが、経営規模はどうか。
答 清心福祉会は、昭和53年設立し東京を中心に、保育園を15園、学童保育所を3か所、老人ホーム等を経営している。本市内でも、鹿児島空港わらべ保育園を開設している。



譲渡予定の敷根保育園

▼反対討論

保育園で働く方たちや保護者の不安は、民間業者が撤退した場合の保育士の確保や保育の質の低下である。効率化重視の民営化ではなく、公施設としての責任を果たすべきである。

▼賛成討論

東京の法人ではあるが、現在も多くの施設を運営し実績もある。計画として、0歳児からの受入れや園の新設を含めた環境の拡充計画があり期待できる。

障がい者等の医療費助成制度の現物給付を鹿児島県に求める陳情書

障がいのある子を育ててきた。医療費助成である重心医療制度で、心配なく利用できたが、償還払いの申請の手間がある。重い自閉症の子どもの場合も重心医療制度を利用しているが、病院や支払いに時間がかかり、一つ一つの手間を省いてもらえると助かるとの説明。

問 陳情には、障がい者等ということ、等」の文言があるが、どのようなことを想定しているのか。
答 身体障害、知的障害、精神障害、難病など、さまざまな医療費助成制度がある。どれも漏れさず現物給付をお願いしたい。

問 障がんのある子を育ててきた。医療費助成である重心医療制度で、心配なく利用できたが、償還払いの申請の手間がある。重い自閉症の子どもの場合も重心医療制度を利用しているが、病院や支払いに時間がかかり、一つ一つの手間を省いてもらえると助かるとの説明。

問 障害年金を受給されているが、手数料や移動手段など、実際の手出しはどれくらいか。
答 障害年金が月7万円で、そのなかから家賃や光熱費など支払っている。重心医療費制度のほかに、特定疾患の難病もあり上限額の5千円で毎月1回の特定疾患の定期検診を受けている。風邪や歯科診療などは難病指定に入らないため、薬代と診察料がかかる。

問 障がんのある子を育ててきた。医療費助成である重心医療制度で、心配なく利用できたが、償還払いの申請の手間がある。重い自閉症の子どもの場合も重心医療制度を利用しているが、病院や支払いに時間がかかり、一つ一つの手間を省いてもらえると助かるとの説明。

問 障がんのある子を育ててきた。医療費助成である重心医療制度で、心配なく利用できたが、償還払いの申請の手間がある。重い自閉症の子どもの場合も重心医療制度を利用しているが、病院や支払いに時間がかかり、一つ一つの手間を省いてもらえると助かるとの説明。

教職員定数改善等の意見書採択の要請についての陳情書

人員確保で最も重要なのは、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することである。学級編成基準を改めると同時に、教職員定数改善を進めることが、これからの霧島市を担う子供たちのためにも必要なこととの説明。

▼反対討論

反対理由は、複式学級の解消の部分である。本市は複式学級の学校も多く、単純に解消を求める意見書を議会が提出することに違和感がある。陳情の4項目全てに賛同できないため、不採択との判断である。

▼賛成討論

4項目の陳情内容は、子どもたちに基礎的学力を身につけさせるという点で理解できる。特別支援学級の在籍数も増えており、教員の職場を担保するという点でも、今回の陳情は採択すべき。

結果、陳情を不採択とすべきものと決定しましたが、自由討議及び討論の中で「賛同できる項目については意見書として上げるべき」との意見もあり、3項目について意見書を提出することとなりました。

産業建設常任委員会

◎委員長 ○副委員長 ◎池田 綱雄 ○厚地 覺 松枝 正浩 愛甲 信雄 木野田 誠 有村 隆志 植山 利博 蔵原 勇

審査した議案を掲載しています

- 議案第60号 霧島市給水条例の一部改正について 全会一致で可決
議案第63号 霧島市道路附属物自動車駐車場駐車料金徴収条例の制定について 全会一致で可決
議案第66号 損害賠償の額を定め和解することについて 全会一致で可決
議案第67号 損害賠償の額を定め和解することについて 全会一致で可決

国分駅西口にコインパーキングを設置

国分駅東西駐車場の公平性と併せて公共交通の利用促進を図るために、ロック式コインパーキングを設置し有料化する。本条例の施行日は、年内を予定している。

問 駐車台数は何台で、身障者用スペースをどう考えているか。
答 駐車台数は10台で、身障者用は、西口広場内に別途確保したい。



国分駅西口駐車場

Table with 2 columns: 時間 (Time) and 料金 (Fee). Rows include 30分未満 (30 minutes or less) for free, 30分以上1時間未満 (30 minutes to 1 hour) for 100 yen, and 1時間を超え、1時間毎に加算料 (Over 1 hour, with additional charges per hour) for 100 yen. A note states: 利用は、午前0時から午後12時まで72時間連続駐車することはできない。

指定給水装置事業者に更新制度を導入

現行制度は、新規指定のみで、有効期限は無制限であったが、工事を適正に行うための資質の保持や実態との乖離の防止を図るため、5年更新制を導入する。新規指定と同様の書類提出や研修等の受講の有無も確認することとしている。

問 市の指定業者は、何かあるのか。
答 市内146社、県内207社、県外38社の合計391社である。

問 更新は、いつから該当するのか。
答 2022年4月に該当する指定店に通知し更新申請の手続きを行っていただき、9月29日までに新指定証の発行を行う予定である。

損害賠償の額を定め和解

福山町の農道をトラクターで走行中、当該農道が地滑りを起こし転落したことにより、負傷及びトラクターの損傷が発生をした。過失割合により、治療費、慰謝料及び修理費用等の損害賠償額140万2211円を相手方に支払うものである。

問 被災の概要はどうか。
答 被災延長11mで、幅員は3mのうち2m、高さが18mであった。

問 現在農道は、復旧をしているか。また他道路の点検を行ったか。
答 現農道は、復旧の見通しがつかないため迂回路を設置した。また、同様の箇所を点検した。今後地域の方々とも連携を図りたい。

問 今後、事故の検証の在り方をどのように考えているのか。
答 勾配が取りにくい現場については、施工方法を充分検討し、職員の立会のもと施工を行うなど対策を取りたい。